

### 建設業等の建設機械の保有状況

#### 1. ま え が き

我が国の建設産業における建設機械の保有状況の変化は、建設の生産性に大きな係わりを有する。

それは建設投資と建設機械の購入台数が比例することに現れているが、近年の公共投資の抑制及び民間投資の低迷から、購入台数の激減、保有台数の減少、そして建設業とリース業の保有する建設機械の構成、台数の占有割合に変化が出ている。

今回は経済産業省と、国土交通省とが共管で、実施している建設機械の動向調査（平成13年度建設機械動向調査報告）をもとに、その動向を報告する。

#### 2. 調査の概要

建設機械動向調査は、統計調査調整法に基づく承認統計として昭和50年から実施しているもので、建設業等の建設機械の保有状況を把握することを目的としている。

調査方法は、建設機械を製造・販売している製造業者及び国産機械又は、輸入機械を販売している商社を対象として、年度毎の販売

台数及びアフターサービスのために管理している機械の台数を調査し、販売台数、保有台数（推定台数）を求めらるもので隔年毎に行われている。

#### 3. 建設機械の購入及び推定保有台数の動向

##### (1) 購入台数

平成13年度の建設機械の購入台数は全国で87,107台で前回比、21.6%減と大幅な減少となっている。

これを工事用種類に見てみると土工機械56,107台(32%減)、運搬機械2,932台(26.8%減)、基礎工事用機械339台(49%減)、せん孔機械3,550台(2.7%減)、整地・転圧機械2,550台(29.2%減)、コンクリート・アスファルト機械4,438台(9.9%増)、トンネル掘削機125台(6%減)、その他の機械17,156台(3.5%増)となっている。

購入台数を業種別に見てみると、建設業21,853台(44.5%減)、リース業31,408台(17.6%減)、官公庁984台(11.4%減)、その他22,871台(11.9%増)となっており建設業が大幅に減少していることが特徴である(表一)。

表一 建設機械購入の業種比率(全国)

分類	機械名		コード	業種別購入台数								
				規 格	区 分	販売台数	建設業		リース業等		官公庁等	
	台数	(%)					台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)
土 工 機 械	履帯式ブルドーザ (ハンドガイドを除く)	ブレード付整備重量	3~10t未満	012	768	160 (20.8)	403 (52.5)	12 (1.6)	193 (25.1)	0 (0.0)		
			10~20t	013	335	76 (22.7)	125 (37.3)	9 (2.7)	125 (37.3)	0 (0.0)		
			20t以上	014	144	47 (32.6)	9 (6.3)	1 (0.7)	87 (60.4)	0 (0.0)		
		計		1,247	283 (22.7)	537 (43.1)	22 (1.8)	405 (32.5)	0 (0.0)			
	油圧式 ショベル系掘削機 (ハンドガイドを除く)	標準バケット 平積容量	0.2m³未満	041	21,925	6,778 (30.9)	10,502 (47.9)	102 (0.5)	4,113 (18.8)	430 (2.0)		
			0.2~0.6m³	042	13,304	4,540 (34.1)	6,455 (48.5)	35 (0.3)	2,219 (16.7)	55 (0.4)		
			0.6m³以上	043	9,346	2,745 (29.4)	4,058 (43.4)	29 (0.3)	2,510 (26.9)	4 (0.0)		
		計		44,575	14,063 (31.5)	21,015 (47.1)	166 (0.4)	8,842 (19.8)	489 (1.1)			
	機械ロープ式 ショベル系掘削機 (クローラクレーンを含む)	標準バケット 平積容量 (最大吊上げ能力)	0.6~1.2m³未満(20~40t未満)	051	8	5 (62.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)		
			1.2~2.0m³ (40~60t)	052	51	42 (82.4)	4 (7.8)	0 (0.0)	3 (5.9)	2 (3.9)		
2.0m³以上 (60t以上)			053	182	105 (57.7)	53 (29.1)	0 (0.0)	24 (13.2)	0 (0.0)			
計			241	152 (63.1)	57 (23.7)	0 (0.0)	30 (12.4)	2 (0.8)				
履帯式トラクタショベル			061	28	3 (10.7)	3 (10.7)	3 (10.7)	19 (67.9)	0 (0.0)			
車輪式トラクタショベル	標準バケット 山積容量	0.6m³未満	071	4,770	575 (12.1)	1,209 (25.3)	112 (2.3)	2,333 (48.9)	541 (11.3)			
		0.6~3.6m³	072	4,695	925 (19.7)	613 (13.1)	257 (5.5)	2,143 (45.6)	757 (16.1)			
		3.6m³以上	073	461	105 (22.8)	26 (5.6)	0 (0.0)	292 (63.3)	38 (8.2)			
	計		9,926	1,605 (16.2)	1,848 (18.6)	369 (3.7)	4,768 (48.0)	1,336 (13.5)				
合 計				56,017	16,106 (28.8)	23,460 (41.9)	560 (1.0)	14,064 (25.1)	1,827 (3.3)			
運 搬 機 械	公道外用ダンプトラック		081	323	124 (38.4)	26 (8.0)	0 (0.0)	172 (53.3)	1 (0.3)			
	油圧式トラック クレーン	最大吊上能力	5t未満	101	281	7 (2.5)	72 (25.6)	10 (3.6)	147 (52.3)	45 (16.0)		
			5~40t	102	32	13 (40.6)	13 (40.6)	0 (0.0)	6 (18.8)	0 (0.0)		
			40t以上	103	62	1 (1.6)	56 (90.3)	1 (1.6)	4 (6.5)	0 (0.0)		
計		375	21 (5.6)	141 (37.6)	11 (2.9)	157 (41.9)	45 (12.0)					

# 統計

分類	機 械 名		コード	業種別購入台数										
	規 格	区 分		販売 台数	建設業		リース業等		官公庁等		その他		不明	
					台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)
運搬機械	機械式トラッククレーン			111	6	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (100.0)	0 (0.0)			
	ホイールクレーン (ラフテレーン クレーンを含む)	最大吊上能力	20 t 未満	115	409	121 (29.6)	259 (63.3)	1 (0.2)	28 (6.8)	0 (0.0)				
			20 t 以上	116	703	215 (30.6)	474 (67.4)	1 (0.1)	13 (1.8)	0 (0.0)				
		計		1,112	336 (30.2)	733 (65.9)	2 (0.2)	41 (3.7)	0 (0.0)					
	不整地用運搬車	最大積載量	1 t 以上	117	1,116	94 (8.4)	953 (85.4)	7 (0.6)	55 (4.9)	7 (0.6)				
	合 計			2,932	575 (19.6)	1,853 (63.2)	20 (0.7)	431 (14.7)	53 (1.8)					
基礎工事用機械	振動パイルドライバ			131	92	66 (71.7)	26 (28.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)			
	アースオーガ			141	106	77 (72.6)	25 (23.6)	0 (0.0)	4 (3.8)	0 (0.0)				
	大口径掘削機 (ベント, リバース, アースドリル)			151	23	20 (87.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (13.0)	0 (0.0)				
	油圧ハンマ			153	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)			
	油圧式杭圧入引抜機			155	60	56 (93.3)	4 (6.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)			
	地盤改良機械			157	58	52 (89.7)	6 (10.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)			
		合 計			339	271 (79.9)	61 (18.0)	0 (0.0)	7 (2.1)	0 (0.0)				
せん孔	大型ブレーカ	油圧式		161	3,419	461 (13.5)	1,280 (37.4)	4 (0.1)	1,110 (32.5)	564 (16.5)				
	クローラドリル			171	131	71 (54.2)	3 (2.3)	0 (0.0)	57 (43.5)	0 (0.0)				
		合 計			3,550	532 (15.0)	1,283 (36.1)	4 (0.1)	1,167 (32.9)	564 (15.9)				
整地・転圧機械	モータグレーダ (除雪グレーダを含む)	ブレード長	3.6 m 未満	181	144	36 (25.0)	51 (35.4)	27 (18.8)	30 (20.8)	0 (0.0)				
			3.6 m 以上	182	88	7 (8.0)	2 (2.3)	55 (62.5)	24 (27.3)	0 (0.0)				
		計			232	43 (18.5)	53 (22.8)	82 (35.3)	54 (23.3)	0 (0.0)				
	ロードローラ (搭乗形自走式) (マカダム, 三輪タンDEM)	自重 (ウェイトなし)		191	220	79 (35.9)	115 (52.3)	0 (0.0)	26 (11.8)	0 (0.0)				
	タイヤローラ (搭乗形自走式)	自重 (ウェイトなし)		201	700	167 (23.9)	471 (67.3)	1 (0.1)	60 (8.6)	1 (0.1)				
	振動ローラ (コンバインドローラを含む)	搭乗形自走式		211	1,398	273 (19.5)	1,061 (75.9)	4 (0.3)	58 (4.1)	2 (0.1)				
		合 計			2,550	562 (22.0)	1,700 (66.7)	87 (3.4)	198 (7.8)	3 (0.1)				
コンクリート・アスファルト機械	コンクリート プラント	型式	重力式	221	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)	0 (0.0)				
			強制練式	223	118	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	53 (44.9)	65 (55.1)				
		計			125	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	60 (48.0)	65 (52.0)				
	コンクリートフィニッシャ			231	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)				
	コンクリートミキサ			232	70	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	70 (100.0)	0 (0.0)				
	トラックミキサ (アジテータトラックを含む)			241	3,434	1,269 (37.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	1,543 (44.9)	621 (18.1)				
	コンクリートポンプ	型式	定置式	251	42	19 (45.2)	16 (38.1)	0 (0.0)	7 (16.7)	0 (0.0)				
			車両搭載式	252	227	192 (84.6)	2 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	33 (14.5)				
		計			269	211 (78.4)	18 (6.7)	0 (0.0)	7 (2.6)	33 (12.3)				
	アスファルトプラント			261	40	40 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)				
	アスファルト フィニッシャ	最大舗装幅	3.5 m 未満	271	183	86 (47.0)	82 (44.8)	1 (0.5)	14 (7.7)	0 (0.0)				
			3.5 m 以上	272	317	171 (53.9)	95 (30.0)	0 (0.0)	51 (16.1)	0 (0.0)				
計			500	257 (51.4)	177 (35.4)	1 (0.2)	65 (13.0)	0 (0.0)						
	合 計			4,438	1,777 (40.0)	196 (4.4)	1 (0.0)	1,745 (39.3)	719 (16.2)					
トンネル掘削機	全断面トンネル掘進機			281	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)				
	シールド掘進機			282	60	60 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)				
	小口径管推進機			283	28	16 (57.1)	6 (21.4)	0 (0.0)	6 (21.4)	0 (0.0)				
	自由断面トンネル掘進機			284	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)				
	トンネルジャンボ			285	37	36 (97.3)	0 (0.0)	1 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)				
		合 計			125	112 (89.6)	6 (4.8)	1 (0.8)	6 (4.8)	0 (0.0)				

分類	機 械 名		コード	業種別購入台数						
	規 格	区 分		販売台数	建設業	リース業等	官公庁等	その他	不明	
					台数 (%)	台数 (%)	台数 (%)	台数 (%)	台数 (%)	
その他の機械	大型コンプレッサ (15 kW 又は 20 PS 以上)	可搬式 半可搬式	291	4,270	708 (16.6)	2,595 (60.8)	28 (0.7)	680 (15.9)	259 (6.1)	
	大型発動発電機 (15 kW/60 Hz 以上)	可搬式 半可搬式	301	6,657	820 (12.3)	4,813 (72.3)	60 (0.9)	522 (7.8)	442 (6.6)	
	ロータリ除雪車	搭乗形	311	151	8 (5.3)	2 (1.3)	140 (92.7)	1 (0.7)	0 (0.0)	
	路面清掃車	搭乗形	321	240	40 (16.7)	4 (1.7)	51 (21.3)	27 (11.3)	118 (49.2)	
	路面切削機		331	48	40 (83.3)	4 (8.3)	0 (0.0)	4 (8.3)	0 (0.0)	
	高所作業車	トラック架装のもの	341	2,826	184 (6.5)	882 (31.2)	15 (0.5)	1,745 (61.7)	0 (0.0)	
		その他のもの	342	2,623	8 (0.3)	484 (18.5)	3 (0.1)	2,122 (80.9)	6 (0.2)	
		計			5,449	192 (3.5)	1,366 (25.1)	18 (0.3)	3,867 (71.0)	6 (0.1)
	自走式破砕機	コンクリート・木材用	351	341	110 (32.3)	65 (19.1)	14 (4.1)	152 (44.6)	0 (0.0)	
		合 計			17,156	1,918 (11.2)	8,849 (51.6)	311 (1.8)	5,253 (30.6)	825 (4.8)
	総 計			87,107	21,853 (25.1)	37,408 (42.9)	984 (1.1)	22,871 (26.3)	3,991 (4.6)	

(2) 主要建設機械の推定保有台数

主要建設機械の保有台数は全体で1,082,061台(10%減)となっている。主要機械の内訳を見ると、履带式ブルドーザ(ハンドガイドを除く)70,333台(19.7%減)、油圧式ショベル系掘削機(ハンドガイドを除く)765,447台(9.7%減)、履带式トラクタショベル15,867台(32.9%減)、車輪式トラクタショベル156,052台(4.8%減)、油圧式トラッククレーン33,418台(13.1%減)、機械式トラッククレーン633台(36.4%減)、ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン含)40,311台(1%増)となっている(図一)。

また保有台数の業種別に見ると、建設業503,227台(14.8%減)、リース業等328,474台(5.1%減)、官公庁等13,142台(6.6%減)となっている。

さらに業種別の保有台数のシェアを見ると、建設業が46.5%

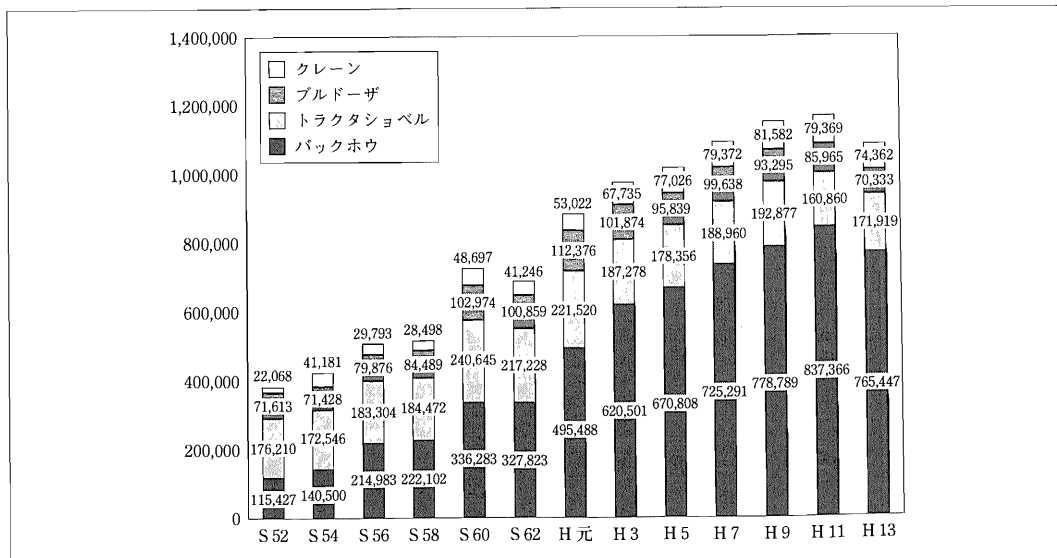
(前回49.1%)、リース業等30.4%(28.8%)、官公庁等1.2%(1.2%)となっている(表一)。

(3) 主要建設機械の保有台数の推移

主要建設機械の保有台数は平成11年度をピークに減少しており、平成13年度には108万台になっている。この傾向は建設投資額が減少を続ける限り続くものと思われる。

(4) 環境対策型建設機械

環境対策型建設機械は超低騒音型機械145,627台(15.9%増)、低騒音型機械510,386台(11.6%減)、排ガス対策型機械513,323台(31%増)となっており、全体の保有台数が10%減少する中で環境対策型建設機械に移行していることが分る(表一)。



図一 主要建設機械の推定保有台数の推移

# 統 計

表一2 主要建設機械の補正係数を用いた推定保有台数

分類	機 械 名		規 格	区 分	コード	推定保有 台数	業種別推定保有台数				
							建設業		リース業等		官公庁等
	台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)	台数	(%)	
土 工 機 械	履帯式ブルドーザ (ハンドガイドを除く)	ブレード付 整備重量	3~10t未満	012	49,507	30,799 (62.2)	12,052 (24.3)	864 (1.7)	5,393 (10.9)	399 (0.8)	
			10~20t	013	15,424	9,205 (59.7)	2,722 (17.6)	820 (5.3)	2,539 (16.5)	138 (0.9)	
			20t以上	014	5,402	3,030 (56.1)	601 (11.1)	166 (3.1)	1,591 (29.5)	14 (0.3)	
			計		70,333	43,034 (61.2)	15,375 (21.9)	1,850 (2.6)	9,523 (13.5)	551 (0.8)	
	油圧式 ショベル系掘削機 (ハンドガイドを除く)	標準バケッ ト平積容量	0.2m³未満	041	335,103	142,479 (42.5)	114,441 (34.2)	1,496 (0.4)	37,560 (11.2)	39,127 (11.7)	
			0.2~0.6m³	042	276,622	153,822 (55.6)	91,616 (33.1)	976 (0.4)	15,058 (5.4)	15,150 (5.5)	
			0.6m³以上	043	153,722	81,303 (52.9)	42,945 (27.9)	330 (0.2)	22,922 (14.9)	6,222 (4.0)	
			計		765,447	377,604 (49.3)	249,002 (32.5)	2,802 (0.4)	75,540 (9.9)	60,499 (7.9)	
	履帯式トラクタ ショベル			061	15,867	10,251 (64.6)	1,834 (11.6)	529 (3.3)	2,947 (18.6)	306 (1.9)	
	車輪式トラクタ ショベル	標準バケッ ト山積容量	0.6m³未満	071	57,787	15,145 (26.2)	13,144 (22.7)	1,913 (3.3)	17,844 (30.9)	9,741 (16.9)	
			0.6~3.6m³	072	91,669	37,282 (40.7)	6,799 (7.4)	4,628 (5.0)	34,336 (37.5)	8,624 (9.4)	
			3.6m³以上	073	6,596	1,298 (19.7)	195 (3.0)	44 (0.7)	3,804 (57.7)	1,255 (19.0)	
計				156,052	53,725 (34.4)	20,138 (12.9)	6,585 (4.2)	55,984 (35.9)	19,620 (12.6)		
合 計					1,007,699	484,614 (48.1)	286,349 (28.4)	11,766 (1.2)	143,994 (14.3)	80,976 (8.0)	
運 搬 機 械	油圧式トラッククレーン*				33,418	10,546 (31.6)	12,679 (37.9)	1,104 (3.3)	7,471 (22.4)	1,618 (4.8)	
	機械式トラッククレーン			111	633	138 (21.8)	95 (15.0)	176 (27.8)	157 (24.8)	67 (10.6)	
	ホイールクレーン (ラフテレーンクレーンを含む)*				40,311	7,929 (19.7)	29,351 (72.8)	96 (0.2)	1,932 (4.8)	1,003 (2.5)	
	合 計				74,862	18,613 (25.0)	42,125 (56.6)	1,376 (1.9)	9,560 (12.9)	2,688 (3.6)	
総 計					1,082,061	503,227 (46.5)	328,474 (30.4)	13,142 (1.2)	153,554 (14.2)	83,664 (7.7)	

注) \*印は厚生労働省移動式クレーン設置台数を引用 (参考値)

表一3 環境対策型建設機械の推定普及・前年比増減率

機械名	規 格	区 分	年 度	推定保有 台数 (A)	前年比 増減 (%)	環境対策型建設機械						
						超低騒音 型建設機 械 (B)		低騒音型 建設機械 (B)		排出ガス対策型 建設機械 (B)		
						(普及率 (%)) (B/A)	(普及率 (%)) (B/A)	(普及率 (%)) (B/A)	第1次/第2次	第1次/第2次		
履帯式ブルドーザ (ハンドガイドを除く)	ブレード付 整備重量	3~10t未満	平成11	61,975	(-)	0	(0)	24,370	(39.3)	4,257/0	(6.9/0)	
			平成13	49,507	(-20.1)	0	(0)	14,645	(29.6)	7,224/48	(14.6/0.1)	
			10~20t	平成11	18,408	(-)	0	(0)	27	(0.1)	197/0	(1.1/0)
				平成13	15,424	(-16.2)	0	(0)	18	(0.1)	1,575/6	(10.2/0)
		20t以上	平成11	7,187	(-)	0	(0)	0	(0)	413/0	(5.7/0)	
			平成13	5,402	(-24.8)	0	(0)	4	(0.1)	781/30	(14.5/0.6)	
		計	平成11	87,570	(-)	0	(0)	24,397	(27.9)	4,867/0	(5.6/0)	
		平成13	70,333	(-19.7)	0	(0)	14,667	(20.9)	9,580/84	(13.6/0)		
油圧式ショベル 系掘削機 (ハンド ガイドを除く)	標準バケッ ト平積容量	0.2m³未満	平成11	351,617	(-)	110,299	(31.4)	153,558	(43.7)	156,411/0	(44.5/0)	
			平成13	335,103	(-4.7)	127,401	(38)	149,517	(44.6)	167,693/28,894	(50 /8.6)	
		0.2~0.6m³	平成11	328,353	(-)	2,055	(0.6)	209,021	(63.7)	120,887/0	(36.8/0)	
			平成13	276,622	(-15.8)	3,599	(1.3)	161,208	(58.3)	130,202/15,325	(47.1/5.5)	
		0.6m³以上	平成11	167,876	(-)	3,028	(1.8)	117,688	(70.1)	47,279/0	(28.2/0)	
			平成13	153,722	(-8.4)	5,162	(3.4)	112,079	(72.9)	76,198/9,869	(49.6/6.4)	
		計	平成11	847,846	(-)	115,382	(13.6)	480,267	(56.6)	324,577/0	(38.3/0)	
		平成13	765,447	(-9.7)	136,162	(17.8)	422,804	(55.2)	374,093/54,088	(48.9/7.1)		
履帯式トラクタ	計	平成11	23,662	(-)	0	(0)	0	(0)	325/0	(1.4/0)		
		平成13	15,867	(-32.9)	0	(0)	0	(0)	216/0	(1.4/0)		

統計

機械名	規格	区分	年度	推定保有 台数 (A)	(前年比 増減) (%)	環境対策型建設機械							
						超低騒音 型建設機 械 (B)	(普及率 (%)) (B/A)	低騒音型 建設機 械 (B)	(普及率 (%)) (B/A)	排出ガス対策型 建設機械 (B)		(普及率 (%)) (B/A)	
										第1次/第2次	第1次/第2次		
車輪式トラクタ ショベル	標準バケット 山積容量	0.6 m³ 未満	平成 11	60,966	(-)	8,059	(13.2)	38,002	(62.3)	35,742/0		(58.6/0)	
			平成 13	57,787	(-5.2)	6,303	(10.9)	26,777	(46.3)	25,008/6,602		(43.3/11.4)	
		0.6~3.6 m³	平成 11	95,641	(-)	2,200	(2.3)	28,453	(29.7)	22,250/0		(23.3/0)	
			平成 13	91,669	(-4.2)	2,306	(2.5)	26,269	(28.7)	29,665/1,157		(32.4/1.3)	
	3.6 m³ 以上	平成 11	7,387	(-)	0	(0)	0	(0)	1,149/0		(15.6/0)		
		平成 13	6,596	(-10.7)	0	(0)	4	(0.1)	2,530/141		(38.4/2.1)		
	計	平成 11	163,994	(-)	10,259	(6.3)	66,455	(40.5)	59,141/0		(36.1/0)		
		平成 13	156,052	(-4.8)	8,609	(5.5)	53,050	(34)	57,203/7,900		(36.7/5.1)		
	合 計			平成 11	1,123,072	(-)	125,641	(11.2)	571,119	(50.9)	388,910/0		(34.6/0)
				平成 13	1,007,699	(-10.3)	144,771	(14.4)	490,521	(48.7)	441,092/62,072		(43.8/6.2)
	油圧式トラッククレーン		計	平成 11	38,476	(-)	0	(0)	778	(2)	0/0		(0/0)
				平成 13	33,418	(-13.1)	785	(2.3)	3,037	(9.1)	0/0		(0/0)
機械式トラッククレーン		計	平成 11	995	(-)	0	(0)	0	(0)	0/0		(0/0)	
			平成 13	633	(-36.4)	0	(0)	0	(0)	0/0		(0/0)	
ホイールクレーン (ラフテレン クレーンを含む)		計	平成 11	39,898	(-)	26	(0.1)	6,000	(15)	2,821/0		(7.1/0)	
			平成 13	40,311	(1.0)	91	(0.2)	16,828	(41.7)	9,466/693		(23.5/1.7)	
合 計			平成 11	79,369	(-)	26	(0)	6,778	(8.5)	2,821/0		(3.6/0)	
			平成 13	74,362	(-6.3)	856	(1.2)	19,865	(26.7)	9,466/693		(12.7/0.9)	
総 計			平成 11	1,202,441	(-)	125,667	(10.5)	577,897	(48.1)	391,731/0		(32.6/0)	
			平成 13	1,082,061	(-10.0)	145,627	(13.5)	510,386	(47.2)	450,558/62,765		(41.6/5.8)	

4. おわりに

平成 13 年度の建設機械動向調査の結果は、公共投資の抑制と民間投資の低迷を見越して建設業が新規投資に慎重になるとともに厳しい競争に耐えられる体質改善を進めていることが分かる。

全体を通してその傾向をまとめると、次のことがいえそうである。

- ① 我が国の建設機械の保有量は当分の間減少傾向が続く。
- ② 建設業全体の流れは汎用機種（バックホウ、ホイールクレーン等）はさらにリース業を活用する方向にある。
- ③ 大規模で特別な工事に用いられる建設機械は大手建設業が保有するが相互融通化が図られるのではない。

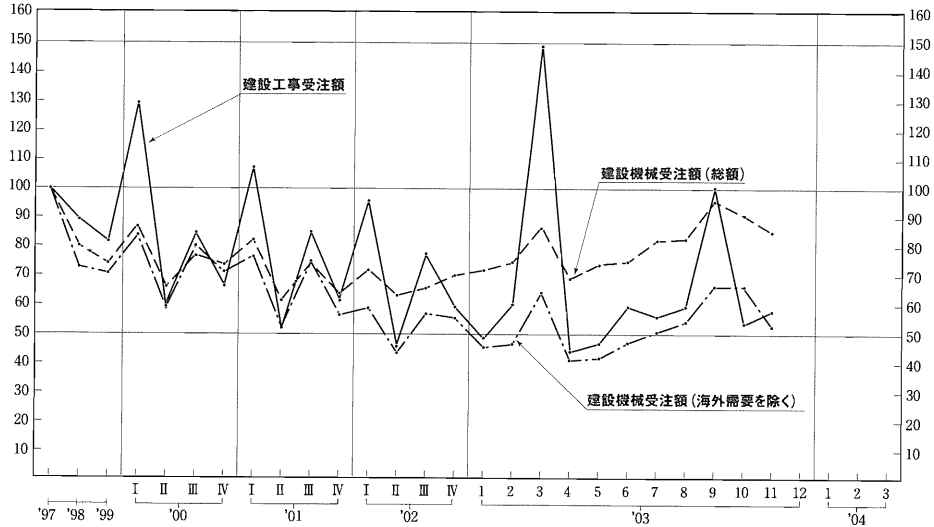
- ④ 専門化が進んだ基礎工事、舗装工事、解体工事等では建設業の自社保有の状態が続くこと。
- ⑤ 中小建設業は技術力と施工能力を確保し競争力を高めるために得意分野の建設機械は自社保有を維持するのではない。
- ⑥ 環境対策機械は自然な形でさらに普及し、常識化すると思われる。

以上、委員から出た意見を集約したが、「建設機械の動向調査」結果は我が国の建設業の施工能力と施行体制を知るうえで建築工事等に使われている大型機械のデータが欠けるものの基礎となる要素動向を表しており、さらに注意深く分析すれば建設事業に係る企業にとって有意なものが得られるのではないだろうか。本調査結果が一層、活用されることを望みたい。

統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査（大手50社）（指数基準 1997年平均=100）  
 建設機械受注額：機械受注統計調査（建設機械企業数25前後）（指数基準 1997年平均=100）



建設工事受注動態統計調査（大手50社）

（単位：億円）

年 月	総 計	受 注 者 別						工 事 種 類 別		未消化 工事高	施工高
		民 間			官 公 庁	そ の 他	海 外	建 築	土 木		
		計	製 造 業	非製造業							
1997年	188,683	116,190	21,956	94,234	55,485	5,175	11,833	122,737	65,946	204,028	201,180
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2001年	143,383	90,656	15,363	75,293	39,133	6,441	7,153	93,605	49,778	162,832	160,904
2002年	129,862	80,979	11,010	69,970	36,773	5,468	6,641	86,797	43,064	146,863	145,881
2002年11月	8,759	5,544	825	4,719	2,460	415	339	6,066	2,693	149,752	11,470
12月	9,960	6,067	864	5,203	3,244	468	181	6,796	3,164	146,863	12,586
2003年1月	7,602	4,941	917	4,024	2,019	339	303	5,249	2,353	143,731	9,895
2月	9,385	6,033	946	5,087	2,661	449	241	6,208	3,177	141,894	11,428
3月	23,200	14,789	1,957	12,831	6,624	658	1,128	15,130	8,070	141,426	19,139
4月	6,720	4,604	730	3,874	1,206	382	527	4,405	2,315	140,202	8,583
5月	7,330	5,352	1,144	4,209	1,212	377	389	5,138	2,192	138,597	8,973
6月	9,250	6,208	655	5,553	2,251	422	369	6,387	2,863	139,002	9,071
7月	9,039	6,001	882	5,119	2,178	379	481	6,209	2,830	137,348	10,548
8月	9,127	5,913	730	5,183	2,495	385	334	6,556	2,571	136,652	9,883
9月	15,655	11,002	1,574	9,428	3,491	510	652	11,400	4,255	139,461	12,860
10月	8,321	5,288	836	4,452	2,288	338	407	5,731	2,590	137,588	10,165
11月	8,891	6,297	851	5,446	1,738	437	419	6,343	2,548	—	—

建設機械受注実績

（単位：億円）

年 月	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'02年 11月	12月	'03年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
総 額	12,862	10,327	9,471	9,748	8,983	8,667	741	770	765	789	922	729	780	797	865	880	1,030	985	857
海外需要	3,931	4,171	3,486	3,586	3,574	4,301	381	443	453	466	475	448	495	472	513	509	563	513	487
海外需要を除く	8,406	6,156	5,985	6,162	5,409	4,365	360	327	312	323	447	281	285	325	352	371	467	472	370

（注）1997年～1999年は年平均で、2000年～2002年は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査  
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査